

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 1 日

仕事の内容	東大和市商店街チャレンジ戦略支援事業				
担当部署・課長名	産業振興	課	商工	係	課長名 小川 泉

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施策番号	3 - 5	-
【施策名】 商業の振興		総合計画書 (ページ)	77	

予算名	款 7 商工費	項 1 商工費	目 2 商工振興費	事業 1 商工振興対策事業費
-----	---------	---------	-----------	----------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市内商店街(会)及び東大和市商工会。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) ①市内商店街(会)総数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 来客数及び継続的な売上増加を図る。	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ①実施商店街(会)総数/市内商店街(会)総数 ②実施されたイベント数/市内商店街(会)総数
	③ そのために何をしましたか。 商店街等が実施する商店街等の振興を目的とした期間限定のイベントに対し、補助金を交付する。(原則的に都の1/3の補助金歳入を見込んだ事業である。なお、市負担も都と連動して1/3を負担することが都補助の条件となっている。よって商店街等の負担は1/3以上となっている。)	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①実施商店街(会)総数 ②実施されたイベント数

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
	対象指標	①の数値	箇所	10	10	10		
	成果指標	②の数値	%	70	80	80		
	目 標	②の目標値	%	120	130	130		
			目標値設定の考え方					
	活動指標	③の数値		7 12	8 13	8 13		

3 経費	事業費(実績)		円	10,575,000	6,094,000	5,347,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	4,364,000	2,595,000	2,236,000	
		特定財源	円	6,211,000	3,499,000	3,111,000	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
事業費+人件費		円	12,228,400	7,744,600	6,995,800		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 平成15年度に東京都新・元気を出せ!商店街事業費補助制度が開始されたことから、市も補助制度を実施。商店街等が実施する期間限定のイベント事業及び活性化事業に対して補助金を交付し、市内商店街等の振興、中小商業の経営の安定及び地域経済の活性化を図ることを目的としている。平成30年度からは、都の事業名変更に合わせて、市の事業名も東大和市商店街チャレンジ戦略支援事業に変更した。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 一店完結型の娯楽施設等を有している大型店の増加や自家用車を利用した買物客の増加等により、商店街を取り巻く環境は厳しくなっている。特に、商店街としての賑わいの主要店舗として期待される小売業の減少が著しく、生鮮産品(肉屋・魚屋・八百屋)が揃っている商店街は市内にない。商店が綺麗に立ち並んでいる商店街もほぼなく、厳しい現状にある。

仕 事 の 内 容	東大和市商店街チャレンジ戦略支援事業			
担当部署・課長名	産業振興	課	商工	係 課長名 小川 泉

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	商店街関係者からは、本事業補助金のおかげで、商店街としての活動を行っていただけるとの意見もいただき、市内商店街にとって、高いものであると考えている。しかし、東京都の間接補助金で成り立っている事業という事で、市の裁量が少なく、商店街からは年々事業内容について成約が増えてきているとの意見もあがってきているものである。			

6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容			
	イベントを実施する中で商店街及び商店街内の事業者のPRについてはある一定の効果があると考えられるが、恒常的に商店街へ足を運んでもらえるような商店街及び事業者自体の魅力の向上も図る必要がある。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 イベントの実施を、日常的な商店街への顧客誘致につなげ、売上増加を図っていただきたいが、商店街としての金銭面的体力も厳しく、中々難しいとの意見を従来からいただいていた。市としては、そういった商店街を何とか後押しする為に、平成30年度から、補助金の算出方法を東京都要綱の範囲内で変更した。これにより、以前は段階的に補助金額を算出していたものが、補助金額の上限はあるものの一律に3分の2支出できるようになった。また、本事業の申請等事務に関するマニュアルも作成・配布し、より本事業を円滑に活用していただけるようにした。			

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
	都要綱の範囲内で、補助金の算出方法を改定したことにより、補助金額が増加したとしても、イベントの企画・運営を行うのはあくまで商店街であり、その後の顧客獲得、売上増加につなげていくためには、商店街が創意工夫をした上でイベント等を行っていただかなくてはならない為、イベント企画の工夫や魅力ある個店づくり等の検討を商店街に促していく。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	上記の推進を図るため、商工会、商店街の取組みの情報収集に努め、商店街づくりに対しての情報共有を図る。			
(3)改革・改善案による期待成果				
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を向上させる。		経費	仕事の経費を増加させる。